

〈食べる〉って簡単なこと？

「しゃりんけんトークセミナー」は、南山大学社会倫理研究所（しゃりんけん）が主催する「学生のためのトークセミナー」です。妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には、通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。そのため、本セミナーでは、社会人になる前に知っておいた方がよいこと・考えておいた方がよいことを、各分野の専門家がわかりやすく解説し、さらに参加者のみなさんとのトークセッションを通じて双方向から議論します。

演題：**なぜ〈ふつう〉に食べられるのか、
なぜ〈ふつう〉に食べられないのか**

日時：**2019年10月17日(木)** ※申込不要

3限目(13:30~15:00)13:00開場

場所：**南山大学S22教室**

対象：**南山大学に所属する大学生・大学院生**



講師：**磯野真穂氏** (いその・まほ) 文化人類学

国際医療福祉大学大学院准教授

企画・コーディネータ：**奥田太郎** (南山大学社会倫理研究所)

私たちは人類史上稀に見る、飢餓に怯えることのない日々を生きています（もうすぐその日は終わるかもしれませんが）。しかしだからといって、食べ物に関する心配がなくなったわけではありません。多くの人が食べたいけどやせたいという欲求を抱えながら日々を生き、その懸念が行きすぎた結果、拒食や過食など〈ふつう〉に食べられない人も出てきています。〈ふつう〉に食べられるとは、具体的には何ができていることなのでしょう。〈ふつう〉に食べられないとは一体何ができなくなっているのでしょうか。今回のトークセミナーでは、文化人類学者の磯野さんをお招きしてお話を伺い、文化人類学の多様な民族の事例と、人工知能の分野でよく知られる概念である〈無限定空間〉という言葉を用いながら、〈ふつう〉に食べられることの意義を探ります。